

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部	保健福祉部	課	高齢福祉課
---	-------	---	-------

施設名	くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会
-----	-------------------	----------	---------------

1. 指定管理者の概要

①業務内容	高齢者部門＝特別養護老人ホーム（4 施設）、ケアハウス（1 施設）、高齢者在宅サービスセンター（6 施設）、居宅介護支援事業所（6 施設）、在宅介護支援センター（2 施設）、地域包括支援センター（3 施設） 障害者部門＝知的障害者更生施設（2 施設）、知的障害者授産施設（4 施設）、身体障害者授産施設（3 施設）、地域活動支援センター（1 施設）、福祉センター（1 施設） その他部門＝措置施設（3 施設）
②類似施設の管理実績	高齢者在宅サービスセンター 5 施設
③経営状況	（19 年度決算ベース） [社会福祉事業会計]歳入 3,455,227,117 円,歳出 3,414,968,219 円,収支差額 40,258,898 円 [社会福祉授産特別会計]歳入 1,008,370,095 円,歳出 996,736,540 円,収支差額 11,633,555 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区蔵前 2-1-7
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日（年始 1 月 1 日～3 日を除く）8 時 30 分～17 時 15 分
⑤規模	延べ床面積 3,937 ㎡のうち 574 ㎡ SRC 造地上 7 階地下 2 階のうち 6 階の一部
⑥人員体制	14 名 ※施設長を除く（内訳）施設長（1〔兼務〕）、事務員（1）、生活相談員（1）、看護師（常勤 1、非常勤 1）、介護職員（常勤 5、非常勤 5）

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	①通所介護サービス（送迎・食事・生活介護・機能訓練・口腔ケア・栄養指導・レクリエーション、相談等）、②介護予防通所介護サービス（送迎・食事・運動器機能向上訓練・口腔ケア・栄養ケア、アクティビティ等）（定員は 2 つの事業を合わせて 1 日あたり 30 名）
②自主事業	自主事業は行っていない

4. 施設の稼働状況等

19 年度延べ利用人数

単位時間	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
通所介護 6~8	573	610	593	584	555	532	554	549	567	503	524	517	6,661
通所介護 4~6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 3~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護 2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	92	82	86	85	98	74	84	91	67	73	81	90	1,003
計	665	692	679	669	653	606	638	640	634	576	605	607	7,664
利用率(%)	88.7	85.4	87.1	85.8	80.6	80.8	78.8	82.1	81.3	80.0	80.7	77.8	82.4

5. 予算決算の推移 (単位：円)

年度		17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	負担金補助及び交付金	31,690,800	31,560,000	17,955,000	12,728,000	
	料金収入等	59,183,200	70,709,000	78,175,000	78,105,000	
	管理経費	90,874,000	102,269,000	96,130,000	90,833,000	
決 算	負担金補助及び交付金	32,318,800	31,560,000	45,506,429		
	料金収入等	62,973,453	90,071,213	78,795,826		
	管理経費	86,944,663	94,079,784	81,953,033		
	収 支	8,347,590	27,551,429	42,349,222		

6. 評価項目		
3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目		
評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.1]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [2] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [3]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [-] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [2] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.0]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [2] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [2] (4)利用料等の徴収・管理 [2]
7. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	利用者本位の良好なサービス提供が行われている。
②施設の維持管理	A	適切な日常の点検及び清掃等により、良好な管理が行われている。
③利用者の満足度	A	利用者満足度調査の結果では、総じて高い評価を得ているが、施設利用率は18年度をわずかに下回ったため、さらなる努力が望まれる。
④歳入歳出	A	管理経費の見直しを進めているが、収入は18年度を下回っており、更なる経営努力が望まれる。
⑤総合評価	A	利用者の視点に立ったサービス提供がなされており、概ね良好な施設運営に努めている。
8. 課題への対応等		
<p>全体的に良好な施設運営を実施している。開設後13年を経過し、建物の老朽化が進んでいるが、計画的な修繕や不具合発生時の迅速な対応により、適切な施設管理がなされている。</p> <p>20年度で指定期間が満了となるが、次期指定に向け取り組むべき課題として、より効率的な施設運営を図るために、経費縮減に基づく収支計画の見直しを継続していく。</p>		